

来年度予算要求をお寄せください

議員団控室 Tel. Fax 046(225)2709



都留市役所前の「元気くん1号」

入していく方針を決めました。市民の「都留水エネルギー研究会」の結成、信州大学工学部や谷村工業高校が実験を重ね、平成18年4月に市役所前に「小水力発電 元気くん1号」が動き出しました。水車の直径6メートル、幅2メートル、最大出力20kW、開放型下掛け水車です。

「つるのおんがえし債」

1号の工事費は4337万円、その財源として市民公募債「つるのおんがえし債」で1700万円が寄せられました。命名は「クリーンなエネルギーを頂い

「元気くん」は つるのおんがえしで

小水力発電「元気くん」

10月31日、厚木市議会議員クラブの研修視察で、山梨県都留市の自然再生エネルギーを利用した取り組みと、忍野村の学校給食共同調理場における微酸性電解水製造装置の運用状況についてみてきました。

山梨県都留市は、山梨県の東部、神奈川県からは道志村を挟んで近い位置にあります。相模川の源流である桂川が市域の中央を流れています。都留市では明治時代に家中川（かちゅうがわ）の落差を利用した水力発電が行われていました。しかし、発電が火力に移行したため昭和28年に廃止されました。都留市では、行政と市民グループ、大学との取り組みがあいまって、積極的に新エネルギーを導入

号」が動き出しました。水車の直径6メートル、幅2メートル、最大出力20kW、開放型下掛け水車です。

建設中の「元気くん3号」は、全額、国の「ニューディール基金」補助金3000万円が充てられます。

1号は、川上での3号工事中のため停止中でしたが、そばで見ると「大きいなあ!」。水車の羽は松の板です。古くなった

家中川は農業用水としても使われており、水量の変化が激しく、台風など雨量の激しい時は水を止めることもあり、発電量は不安定です。

平成22年には、開放型上掛け水車の「元気くん2号」が稼働を始めました。

発電した電気は市役所へ供給しています。平成22年度には市役所電力量の24・5%になり、発電でできなかった期間を除くと40%にもなったといえます。

「元気くん」はそれぞれに特徴があり、1号は少ない落差でも発電が可能なこと、見ていて迫力があるので、視覚的に環境啓発に役立つということです。

厚木市は河川はたくさんありますが、小水力発電の導入を考えると、水量や高低差の問題など、いろいろな考慮すべきことがありそうです。

2号は、発電効率はよいのですが、落差が3・5m以上必要で、工事費が高いことが難点。3号（建設中）は、落差1mでも発電できますが、発電量が少ないということです。

「無いものねだりより、有るもの探し」、市民自らがまちづくりのアイデアを出し合う「まちを作る気概」、家中川の調査からごみの問題を考え、学びとまちづくりへと運動が展開していったことなど、市の若い職員が、自信を持って説明してくれたことも印象的でした。

お差し支えなければ、ご記入をお願いします。

ご住所 _____ 電話 _____
お名前 _____

11月の法律相談は

11月17日(木) 14時~

事前の連絡をお願いします。

議会報告会を行います。11月15日(火) 12時~ 陸台西公民館、23日(水・祝) 14時~ 南毛利公民館